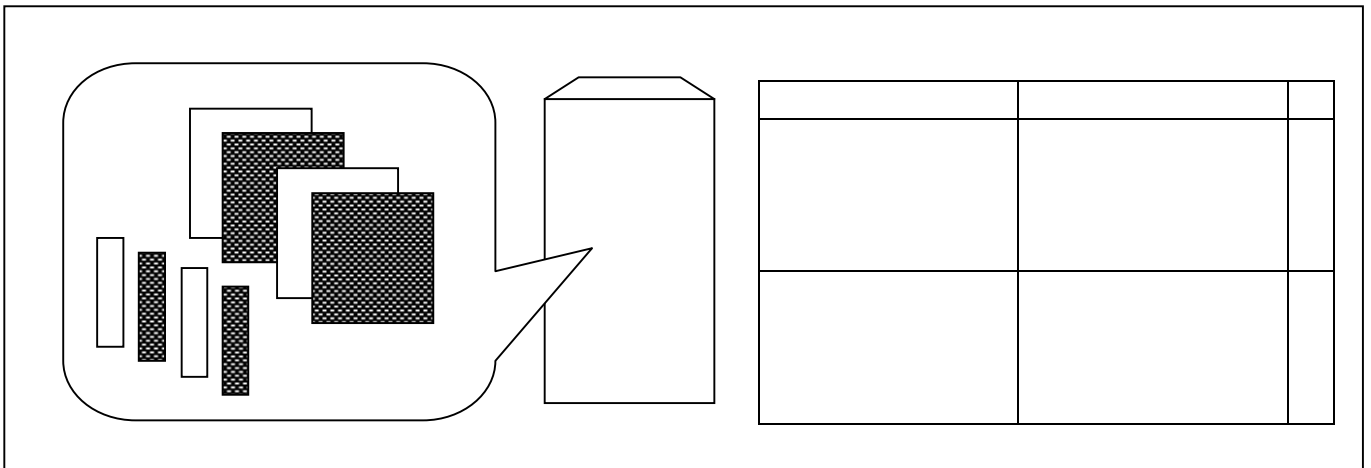


教師用手引き 授業のアイデア

文章の比べ読みの仕方を学ばせる際に有効な手立て

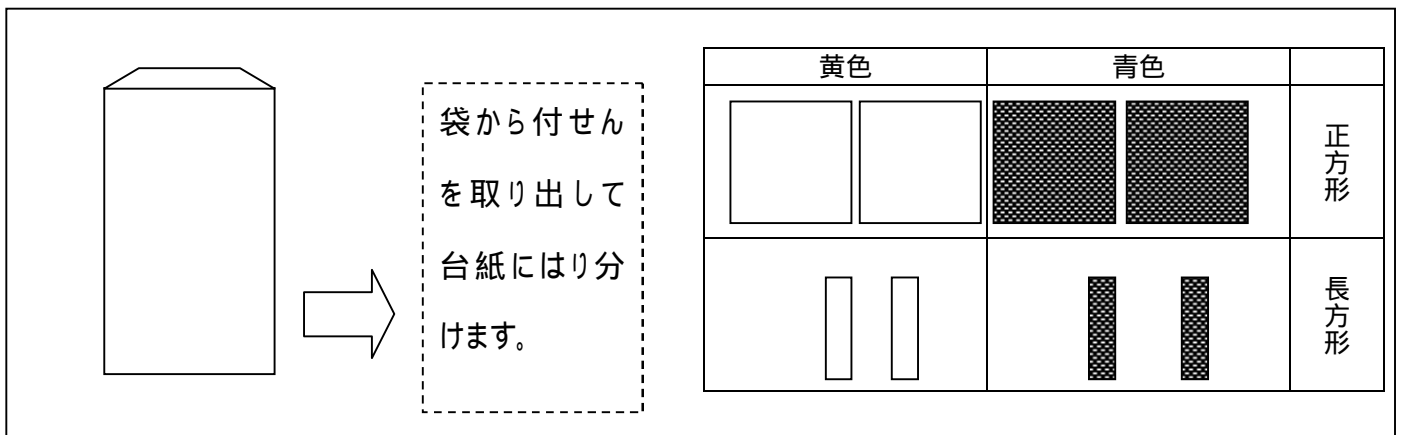
「比べ読み」は国語科の学習指導において有効な学習活動ですが、その方法がよく分からない生徒にとっては難しさを感じることも多いようです。そこで、色や形の違う付せんを分類させる作業的な活動を通して、「比較する」という思考の流れを体験的に理解させたいと思います。

まず、色や形の違う付せんを6枚から8枚程度、封筒に入れたものをグループの数だけ用意します。同様に、分類枠を書き入れた台紙（八つ切り画用紙）もグループに1枚用意します。



次に、生徒に活動の説明をして、実際にやって見せます。

さらに、分類表の見出しに書き込みをすることも指示します。ただし、これは説明のみで実際に書き込みをして見せることはしません。



グループごとにこの活動を行いますが、この際の作業的な活動の手順と各手順における生徒の思考は、次のようになります。

封筒から付せんを取り出して、その付せんを見渡します。

- ・「いろいろな形や色の付せんが8枚入っている。」

色と形について共通点や相違点があることに気付きます。

- ・「黄色と青色の2種類の色がある。」

- ・「正方形と長方形の2種類の形がある。」

色と形についての共通点と相違点を整理して、台紙に分けて貼ります。

- ・「正方形の付せんを上の段に，長方形の付せんを下の段に貼ろう。」(上と下は任意)
 - ・「黄色の付せんを左の欄に，青色の付せんを右の欄に貼ろう。」(左と右は任意)
- 表の見出しに分類した付せんの共通点を書き込みます。
- ・「横の見出しの欄には左に『黄色』と右に『青色』と書こう。」
 - ・「縦の見出しには上に『正方形』，下に『長方形』と書こう。」

作業の終了を確認したら，グループごとにどのように分類したかを報告させます。

台紙を黒板にはり，全グループが報告し終えたところで，全体を見渡し，ある共通点があることに気付かせます。つまり，どのグループも，色の違いと，形の違いに着目して付せんを分類しているということです。

このときに，分類作業の際の「比較する」という思考にかかわる用語を次のように教えます。

みなさんは，色の違いに気が付いて，色の違う付せん紙を分けました。このとき，「付せん紙の色の違い」を「分類の観点」と言います。また，分類するときに気を付けて見た「付せん紙の色」を「分類の視点」と言います。簡単に言うと，「観点」＝「見方」で，「視点」＝「見るところ」です。また，比較するときには，「同じところを比べること」を「類比」と言って，「同じところ」を「共通点」と言いました。同様に，「違うところを比べること」を「対比」と言って，「違うところ」を「相違点」と言いました。これらの言葉をぜひ覚えておいてください。

「観点」と「視点」という言葉は，日常では，ほとんど区別なく使われることが多いのですが，比べ読みに取り組ませる際に，これらの言葉を使い分けることで，何を(どこを)，どのように比べるのかということが明確になり，比べ読みの活動がスムーズとなり，より充実したものにできると考えています。

比べ読みについては，比べ読みの際の「視点」と「観点」を次のようにとらえました。

- (1) 「何を比べるか」 「どこを比べるか」 「比べるところ」＝「視点」
- (2) 「何の観点で比べるか」 「どう比べるか 類比・対比」 「比べ方」＝「観点」

比べ読みと関連付けたワークシート
〔授業モデル1 補助資料1〕

① 付せん紙

見出し欄	記事	見出し欄	記事
C	A	D	B

② 付せん紙

③ 付せん紙

④ 付せん紙

⑤ 付せん紙

⑥ 付せん紙

⑦ 付せん紙

⑧ 付せん紙

⑨ 付せん紙

⑩ 付せん紙

⑪ 付せん紙

⑫ 付せん紙

⑬ 付せん紙

⑭ 付せん紙

⑮ 付せん紙

⑯ 付せん紙

⑰ 付せん紙

⑱ 付せん紙

⑲ 付せん紙

⑳ 付せん紙

㉑ 付せん紙

㉒ 付せん紙

㉓ 付せん紙

㉔ 付せん紙

㉕ 付せん紙

㉖ 付せん紙

㉗ 付せん紙

㉘ 付せん紙

㉙ 付せん紙

㉚ 付せん紙

㉛ 付せん紙

㉜ 付せん紙

㉝ 付せん紙

㉞ 付せん紙

㉟ 付せん紙

㊱ 付せん紙

㊲ 付せん紙

㊳ 付せん紙

㊴ 付せん紙

㊵ 付せん紙

㊶ 付せん紙

㊷ 付せん紙

㊸ 付せん紙

㊹ 付せん紙

㊺ 付せん紙

㊻ 付せん紙

㊼ 付せん紙

㊽ 付せん紙

㊾ 付せん紙

㊿ 付せん紙

補助資料① 比較(比べ読み)

① 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

② 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

③ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

④ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑤ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑥ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑦ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑧ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑨ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑩ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑪ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑫ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑬ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑭ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑮ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑯ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑰ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑱ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑲ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

⑳ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉑ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉒ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉓ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉔ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉕ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉖ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉗ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉘ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉙ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉚ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉛ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉜ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉝ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉞ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㉟ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊱ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊲ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊳ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊴ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊵ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊶ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊷ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊸ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊹ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊺ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊻ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊼ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊽ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊾ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

㊿ 比較

類比 共通点(同じところ)を比べること

対比 相違点(違うところ)を比べること

次に，比べ読みの説明について具体的に述べます。文章を比べるときには，比べる目的に応じて，視点と観点をはっきりさせます。例えば，意見文の書き方を学ぶために新聞投稿記事を読み比べるときには，モデルとなる新聞投稿記事の共通点を探します。このとき，新聞投稿記事の要素(内容，構

成，文体，論理の展開，根拠の示し方など)のすべてが，比べるところ＝「視点」となり，「視点」の中で読み比べる新聞投稿記事の共通点を取り出して比べることが「観点」ということとなります。また，書き方の工夫について学ぼうとするときには，読み比べる記事の「構成」や「意見（主張）の述べ方」「根拠の示し方」などを視点にして，その違いを比べてみると，それぞれのよさや特徴が分かります。このときは，記事の相違点を取り出して比べることが「観点」となります。

これを先ほどの作業的な活動と関連付けて説明すると，次のようになります。

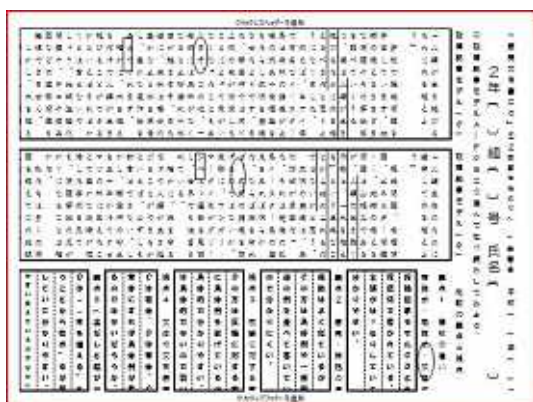
「みなさんは，色と形ということに着目して，それらの共通点や相違点を基に，付せんを比較し，分類しました。ここでいう色や形ということが視点であり，色や形の共通点や相違点ということが観点になります。」

「この後，新聞投稿記事の比べ読みをします。この後の活動に当てはめていうと，例えば，記事の構成を視点にして，その構成がどのように違うかということを観点にして新聞投稿記事を比較してみるとということになります。」

「読み比べシートには4つの視点を挙げて，その中の1つを自分で選んで，比べ読みができるようにしていますので，比べ読みをしてみてください。では，始めましょう。」

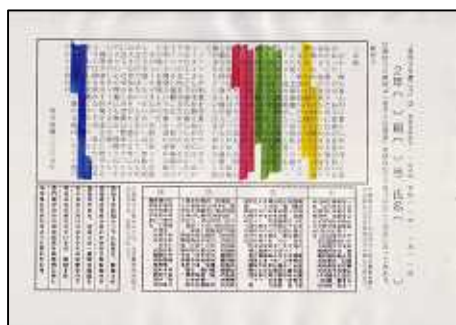
(各自，比べ読みの活動に取り掛かる。) となります。

視点を明らかにしたワークシート(項目で示す)〔授業実践1 ワークシート の記入例〕

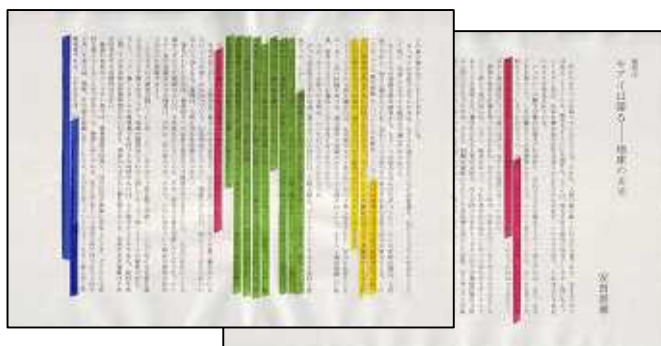


- ・比較の視点(比べるところ)を4つ示して，その1つを選ばせ，その視点について考えさせる。
- ・比較の観点(比べ方)については記入例を示すなどして具体的に指導する。
- ・比べる際の共通点が書き方のポイント，相違点が書き方の工夫になることを理解させる。

新聞のコラム記事で教材と同じような趣旨の文章



教材文



- ・同じ内容を記述してあるところに同じ色を付ける。同じ色のところが「視点」になる。
- ・同じ色のところの書き方の違いを対比させ(どう違うか)，なぜ違うかを考えさせる。書き方の違いということが「観点」になる。

なお，この補助プリントの作成にかかわっては下記の著書を参考にしています。

井上一郎 『読む力の基礎・基本 17の視点による授業づくり』 2003年 明治図書